

株式会社SBS情報システム



静岡県 情報通信業 (情報サービス業)

経営者の声

代表取締役

渡邊 治彦さん



当社は1999年に親会社から分社化した経緯があります。独立した以上、雇用率を達成したいと考え、当時ハローワークやNPO法人などに相談しながら障害者雇用に取り組み、現在3人を雇用しています。企業として障害者の職務選定には悩みますし、長く雇用するためには周囲の従業員の理解を継続的に求めていく必要を感じています。

当社では、障害者を雇用することによって社内のコミュニケーションが増えました。また、外国籍の方の雇用への理解など、多様な働き方を受け入れる社風となってきました。

障害者雇用について、“理念”や“法定雇用率”だけを契機とした取組ではいけないと考えています。職務のマッチングは難しいですが、彼らを戦力として受け入れることが重要です。現在は、IT技術も進み障害特性による課題をサポートできる環境や雇用を支援してもらえる制度があるのですから、それらを積極的に活用すると良いと考えています。

職務内容と工夫

1 できる職務を積み重ねてキャリアアップを図る

勤続13年目の内野さんは視覚障害者。会社として初めて受け入れる障害で不安もある中、内野さんのスキルや意欲に応じた職務内容をその都度検討しマッチングを行い、さらにはキャリアアップを図っている。

(1)障害者トライアル雇用(3か月)活用時の職務

総務部に所属。2~3週間ずつ社内の各部署を体験しながら、資料・議事録の作成、電話対応、受発注の管理などの職務を主担当について補助的に担当。当初は慣れないIT用語などもあったため、業務遂行には時間を要したとのこと。

(2)総務部の職務

内野さんは中途での受障で、前職では営業の経験があった。それを活かせる職務は何かを検討し、購買関係の職務を設定。物品等の見積りを取得し、業者を決定し、発注する職務を、介助者とともに担当した。

その後、営業支援業務を担当。顧客向け資料の発送、顧客との電話によるやり取りの他、事業部門の収支資料のチェック等の職務を担当。6年目にはチーフに昇格。

(3)事業本部の職務

内野さんのスキルアップ希望もあり、勤続8年目に事業本部へ異動。顧客に対する見積作成等の営業支援業務の他、請求書発行システムのデータを管理し他の従業員の誤りを指摘し修正を指示する役割も担っている。11年目にサブプロデューサーに昇格。



2 戦力となって活躍してもらうために雇用支援制度を活用

内野さんのスキルを活かすために障害者雇用を支援する様々な制度を活用し戦力化を図っている。



(1)職務とマッチングを図るために就労支援機器を整備

内野さんは、視力0.01で水中を歩いているような見え方である。慣れにより通勤や社内の移動に大きな問題はないものの、見積り作成やデータ管理業務には必須のワープロソフトや表計算ソフト等の使用には、視覚障害者用の就労支援機器が不可欠であった。

そのため、採用当初に「視覚障害者向けノート型パソコン」「パソコン接続型カラー拡大読書器」「卓上型カラー拡大読書器」を借入れ(約1年)、後に作業施設設置等助成金を活用して就労支援機器を購入した。

ポイント

- ① できる職務を積み重ねてキャリアアップを図る
- ② 戦力となって活躍してもらうために雇用支援制度を活用

2 (2)レベルの高い職務遂行のために介助者を雇用

トライアル雇用開始と同時に、職場介助者として障害者施設の指導員の経歴を持つ社員を介助者として雇用。介助者の支援により入力業務等の効率化が進んだ他、介助者とともに職域の拡大を検討したことが総務部内での担当職務の選定につながり、内野さんのキャリアアップに大きな影響を与えている。介助者の雇用にあたっては「障害者介助等助成金」を活用し、費用の一部について助成を受けた。



雇用管理担当者の声

総務本部長 **鈴木 逸さん** 総務本部副部長 **小泉 真理さん**



障害のある従業員にとって必要な改善には取り組みましたが、特別に何かしている、という雰囲気は職場にありません。それは、仕組みとしてやっているのではなく、その時その時に臨機応変な対応をしているからだと思います。常に順調だったということでもなく、周囲も本人も悩む出来事はありませんでした。その解決に取り組むことは、障害があるからということではなく、企業の人事が従業員に対する姿勢として一般的なのだと考えています。

従業員の声

勤続13年目
内野 博康さん

当社で働き始めてから、13年になります。職務を習得することに、会社が職域を拡げてくれました。障害の有無に関係なく対等に仕事を任せてもらえるので、職場の一員であると実感しています。また、周囲の方が気兼ねなく接してくれるため、職場での疎外感は全くありません。今後も、求められる役割に対して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

活用した制度

トライアル雇用、ジョブコーチ支援、就労支援機器貸出し、障害者作業施設設置等助成金、障害者介助等助成金、特定求職者雇用開発助成金

活用した支援機関

ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、地域障害者職業センター

労働条件等：1日8時間、週5日間勤務、正社員

法人データ



株式会社SBS情報システム

- 所在地…………… 静岡県静岡市
- 従業員数…………… 178人
- 障害者雇用者数… 3人
- 障害種別…………… 視覚障害、聴覚障害、内部障害
- 事業内容…………… システムインテグレーションサービス、総合行政情報システム他